


バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員および研究員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	第59回日本植物学会
演題名	組織癒合に関わるANAC071転写因子のオーキシシンによる発現制御
発表者	○ <u>松岡啓太</u> 、 <u>湯本絵美</u> 、 <u>横田孝雄</u> 、 <u>山根久和</u> 、 <u>佐藤忍</u> 、 <u>朝比奈雅志</u> (植物生理学研究室)
内容	本研究では、組織癒合に関わるANAC071のオーキシシンによる制御機構の解明を目指し、遺伝子発現解析・組織化学的解析を行った。その結果、花茎切断部におけるANAC071の発現誘導は、傷害ではなくオーキシシンによって直接制御されている可能性が示唆された。以上の研究は、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業、科学研究費補助金(若手B)による支援を受けて行ったものである。
関連画像	 <p>研究に使用した共焦点レーザー顕微鏡</p>